

事業報告

第8回大分県図書館大会（令和3年度）

大会テーマ 「情報社会における図書館のあり方
～子どもや大人が必要な情報にたどり着くために～」
日 時 令和3年8月2日（月）12：50～16：10
参加者 140名（図書館関係52名、学校関係84名、来賓等4名）

<趣旨>

県内の公共図書館と学校図書館相互の連携・諸活動の推進を図るとともに、地域・学校強化と職員のスキルアップにより、図書館サービスの向上と読書に貢献する図書館づくりに取り組むことを目的とする。今回は、情報であふれている世の中で、子どもや大人が必要な情報にたどり着くために、図書館職員としていかに情報を収集・選別し、サポートしていくかを考える。

<研修内容>

【記念講演】「その情報はどこから？」～ネット時代の情報選別力と図書館の役割～
講師 猪谷 千香 氏（ジャーナリスト、作家） ※リモート出演

- 1 デマの広がり方（トイレットペーパー買い占め騒動）
- 2 本当にデマだけが悪いのか？
- 3 デマは人の人生、命に関わる
- 4 インフォデミックと戦う
- 5 どのように情報選別力を持つのか？
- 6 図書館が情報（リテラシー）の拠点に

情報リテラシーの重要性を再認識することができた講演でした。

【実践交流会】「公立図書館と学校図書館の現状と課題～その解決に向けて～」

実践発表①：「図書館を活用した調べ学習～家庭科・ホームプロジェクトについて～」
発表者 鶴崎工業高校 戸高 さゆり 氏

実践発表②：「公立図書館の現状と課題」
発表者 杵築市立図書館 檜原 啓一 氏

ファシリテーター：大分市立森岡小学校 牧 英治郎 氏

2つの実践発表を聞き、その後ファシリテーターによる意見交換を行いました。
学校図書館での調べ学習の様子や公立図書館の現状を知り、役割の違いはありますが、意見を交わし、協力できることやアイデアを出し合える機会となりました。

<当日の様子(写真)>



<参加者感想>

- ◇読書センターとして、学習・情報センターとして利用者に発信していくことの大切さを感じた。
- ◇明日からの業務に繋がるヒントがたくさん見つけられた。
- ◇情報の取捨選択について、参考になるお話が聞けてよかった。
- ◇本を読むだけでは手に入れることができない情報を手に入れることができた。
- ◇本のことだけでなく、SNS やテレビなど、様々な情報ツールについて知ることも重要だと思った。